

# JR東海労なごや

2011年9月21日 No 867  
JR東海労名古屋地方本部  
発行者：山田哲也  
編集者：堀部 肇

乗務員に犠牲を強いる  
JR東海会社!

何でもかんでも乗務員！  
すべての責任は、  
社員に押しつける会社

会社は、様々なことを車掌に求めています。コマーシャル放送、設備の不具合などところの注意放送、節電のための室内灯の入りきり、基本動作の変更などなど。

かつては、車内放送は簡潔にと言っていたのも関わらず、何時から変わったんだろう？設備の不具合なところは、ずっと変わっていない。すぐに直せるところは直さねば！基本動作は何か些細な事象があると変わってしまいます。しかもプリント1枚で、変更した理由の説明は無しなのです。

現場で働く乗務員には何の意見も聞かない、相談もされない。これでは、なんら問題の解決もできないし、新たな不都合もでてきます。

私たちは、こうした問題を会社にぶっつけて問題を解決していきます。